

住民の声・願いで 区政を動かします

区議会議員

そう ま

相馬ゆうこ

9条を守り平和外交すすめ
憲法を生かした政治に



日本共産党

ごあいさつ

2019年の選挙で、みなさんに区議会に送り出して頂いてから、あっという間の4年間でした。2020年には次女を出産し、妊娠・子育てしながらの議会活動も経験しました。この経験を活かして引き続き、子育て世代をはじめ区民のみなさんの声を議会に届けるために頑張ります。

物価高騰とコロナ禍でくらしが大変です。格差が広がり生きることが苦しいと感じる世の中を変えたい。

現在の大規模再開発は見直し、保育園・幼稚園の環境整備、さくらバスの増便など、みなさんの声で区政をすすめます。

子どもも、若者も、高齢の方も、独身でも、子育て中でも、誰もが大切にされる、いきいきとくらせる荒川区を一緒に作りましょう。



JCPサポーター
公式サイト



相馬ゆうこ
公式ツイッター

プロフィール

1982年南千住生まれ。

第二瑞光小、南千住第二中、都立北園高、和光大、2004年に沖縄へ転居。2011年介護のために帰京、書店勤務を経て、2019年から区議1期、その間、荒川区議会議員として初めての出産を経験。現在、区議会総務企画委員、健康・危機管理対策調査特別委員会委員。

お気軽にご相談ください

荒川区役所
議員団控室

直通Tel: 03 (3802) 4627

E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

南千住相談室

南千住5-1-6

Tel: 03 (3807) 4192

定例
法律相談

毎月第2木曜日午後6～8時
区政・生活相談は
随時ご連絡ください

主な活動地域

南千住1～8丁目(6丁目1～37番を除く)

あらかわ民報

2022年11・12月号外

発行責任者: 高月昭 荒川区東尾久6-35-8-204

日本共産党荒川区委員会は、相馬ゆうこ区議の略歴などを紹介しています。

相馬ゆうこさんが めざすもの

荒川 南千住で

住民の声でまちづくりを

少子高齢化がすすむ中、その地域に住む人の要望に合わせた支援をすすめることが大切です。

住民の声で震災に強いまちづくりをと始めた区議団の区民アンケートは、今年で30回目。日本共産党ならではの取り組みを通して、安心安全の街をめざします。



地元の20代の声をきく

国政おしつけはNO

保育園などの区の施設を、国がすすめるままに民営化する区の方針には反対です。“ロシアのウクライナ侵略”などを口実に大軍拡を進める岸田政権。大軍拡で教育・社会保障が切り捨てられるのはおかしい。この思いで、子育て・介護、くらし最優先の区政をめざします。



2児の母として「ウクライナ侵略はダメ、ロシアは撤退を！」



ニュースで区政を身近に

「南千住レポート」は街のことがよく分ると評判です。「街灯の明かりが届かない」という声にすぐに対応した記事ものせ、「双方向で区政を身近に」「生まれ育った南千住・荒川区を盛り上げたい」という初心を忘れずに区政を身近なものにしていきます。



毎週発行の南千住レポートづくり

子育てから介護まで 希望のもてる区政へ

お約束



- コロナ、物価高騰からくらしと営業を守るため区の独自支援をもとめます
- 保健師など専門職員を増員し、保健所を強化します
- 区立幼稚園・こども園の廃園計画は見直し、保育の質のガイドラインを作成します
- 小中学校の給食を無償化します

- 介護保険料を引き下げ、高齢者福祉サービスを拡充します
- 補聴器購入費助成の所得制限を緩和し助成額を引き上げます
- 荒川区独自に奨学金の返済支援を実現します
- ジェンダー平等の推進、多様性のあるやさしいまちをつくります
- 「痴漢」「盗撮」など性犯罪をなくすための取り組みをすすめます
- 大規模再開発を見直し、犠牲者を出さない防災・福祉のまちづくりをすすめます
- 安全で温もりのある住宅のための家賃助成をめざします
- CO₂排出ゼロ宣言自治体にふさわしい目標と行動をすすめます
- さくらバスの増便を実現します
- インフルエンザ予防接種の助成をもとめます